

■ 節電を意識した電気の使い方

今年の夏は、東日本大震災の影響で全国的に電力使用量抑制が求められ、会員の皆さんも節電に協力されていることと思います。

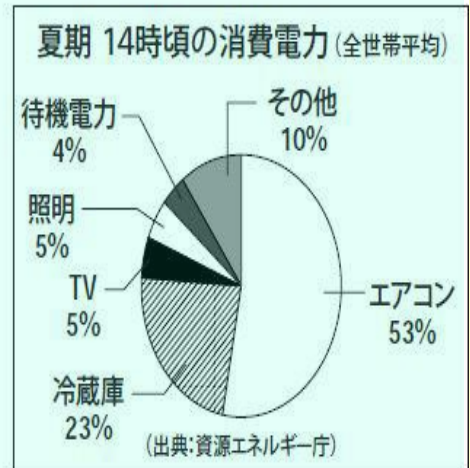


電気事業法第27条で規制されるのは東京電力・東北電力管轄対象の大口需要家(契約電力500kw以上)の事業者などですが、その他の地域でも原発対策や日本の経済活動への影響を考慮し、全国で節電への協力が要請されています。

地球温暖化防止活動の視点では、エネルギーの総量抑制が重要ですが、電力不足に対しては14時前後の電力使用量抑制が最も重要です。14時前後で消費電力が多い電気機器を下の円グラフに示します。既に多くのメディアが具体的な施策を報じておりよくご存知の内容ですが、代表的な対策を整理すると下図表のようになります。

夏期 ピーク時の電力対策(事例)

◆機器の使用を避ける	<ul style="list-style-type: none"> ・TVのつけっ放しを止める ・不要な照明灯を消す ・電力消費量の多い機器は、別の時間帯で使用する(炊飯器、電気ポット、アイロン、電子レンジ、IHヒーターなど) ・待機電力がある機器の電源プラグを抜く
◆機器を使用せざるを得ない場合	<ul style="list-style-type: none"> ・TVの画面を節電モードにする ・エアコンの設定温度を上げ、扇風機と併用する ・エアコンのフィルターを定期的に掃除する ・締め切った部屋の場合、エアコンを使用する前に部屋の換気を行う ・エアコンの室外機に直射日光が当たらないようにする ・冷蔵庫扉の開閉頻度を減らす。又、設定温度を上げる
◆生活環境の改善 生活習慣を変える	<ul style="list-style-type: none"> ・すだれや緑のカーテンを設置する。窓に断熱シールを貼る ・冷蔵庫へ過剰に食品を詰め込まず冷却風路を確保する
◆省電力機器への切り替えや再生可能エネルギーの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン、TV、冷蔵庫など省エネ機器へ置換 ・LED照明へ置換(60形の場合、白熱電灯に比べ約1/7、蛍光灯に比べ約1/4) ・太陽光発電設置



今回を機に、従来のライフスタイルを見直し、節電を意識し電気の使い方を考えてみてはどうでしょうか？

CO2削減とパイ・パナソニックの実現に貢献しましょう。

「地球温暖化防止に私たちができること」 2011.08掲載

生活を見直し
出来るものから
始めてみましょう。



2011.8.15
パナソニック松愛会
横浜東支部 エコ担当 小川友通